



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員数 522人
 コメディカル 396人
 医師 126人
 管理栄養士紹介登録数 35人

《目次》

～糖尿病療養指導士として地域に出向こう～
 浦部 康雄先生……Page 1
 平成17年度西東京糖尿病療養指導プログラム開催報告……Page 2・3
 研究会お知らせ、スケジュール・事務局よりお知らせ……Page 4



～糖尿病療養指導士として地域に出向こう～

当研究会評議員 公立昭和病院管理栄養士 浦部 康雄

西東京CDE研究会では平成15年に西東京地域の糖尿病療養指導士の皆様に意識調査を行いました。いくつかの質問の中で「CDEとしてしたいこと」の回答では患者にあった支援や、糖尿病教室やチーム医療などの体制作りについて、3番目に「地域活動への参加」があげられました。条件を整えば糖尿病1次予防のために、市民の方々への相談者として参加することに好意的なご意見が多いことに感動いたしました。さらに、同年第2回西東京CDE研究会パネルディスカッションではCDEの役割りとして、市町村、保健所、医療機関などと地域の中で積極的に連携する事の重要性も論議されました。

このような背景から平成16年には近藤医院の看護師の方が、小平市、小平市薬剤師会、NPO法人西東京臨床糖尿病研究会など関係団体との調整に奔走され、平成16年10月より小平市主催の健康フェスティバル、市民祭りや薬事相談など、年5回のイベントに近藤医院の看護師、管理栄養士の方のもとより、公立昭和病院薬剤師、臨床検査技師、看護師、管理栄養士、元小平北口クリニック（現所沢ハートクリニック）管理栄養士の方々が糖尿病療養指導士として活動に参加しています。その内容は小平市薬剤師会と連携しつつ血糖測定や血圧測定などを行い、血糖が高めの方には栄養相談を含めた療養相談を行っています。活動の実態は、ボランティアは当然としても、小平市薬剤師会の母屋を借りての活動でやや肩身が狭い思いは否めません。

しかし、市民の方へのアンケート調査では糖尿病療養指導士としての認知度は低いものの相談者として期待される方が多く、大いに勇気づけられました。医療施設内では医療者と患者となりがちですが、このような地域活動では療養アドバイザーと市民との関係で新鮮な印象を感じます。17年度も年5回の活動計画があります。一步一步の地道な活動が、今一番大切なこととCDEの方々には去年にもまして熱く燃えています。近くにいらっしゃいましたら声をかけるか、飛び入りの参加を歓迎いたします。

〔今年度の活動日程と会場をご紹介します〕

- 2005年 ◇ 6月12日(日)終了いたしました。
 ◇ 7月24日(日)終了いたしました。
 ◇ 10月16日(日)小平市市民祭り会場(小平あかしあ通り) 10:00～15:00
 ◇ 11月 6日(日)小平市健康フェスティバル会場(健康会館) 10:00～15:00
 2006年 ◇ 1月29日(日)小平市東部市民センター 10:00～15:00



平成17年度 西東京糖尿病療養指導プログラム(CDEJ-群認定)開催報告

－開催日：平成17年6月19日（日）－

- ・ 西東京糖尿病教育看護研修会〔小金井公会堂〕 …………… 260名参加
- ・ 西東京病態栄養研修会〔国分寺Lホール〕 …………… 161名参加
- ・ 西東京薬剤研修会〔国分寺労政会館〕 …………… 95名参加

参加総数516名と全国からたくさんのご参加をいただき盛会のうちに終了いたしました。当日ご参加いただけなかった方のために、当日の抄録集を1冊1,000円で販売いたします。数に限りがございますのでご希望の方は事務局までご連絡ください。

(事務局電話番号：042-322-7468)

《第2回 西東京糖尿病教育看護研修会》

日本看護協会 和田 幹子

教育看護系の1群研修会も第2回目となりました。昨年大好評だっただけに、2年目の企画は少し荷が重かったのですが、皆さまのご協力のお陰で今年も盛会となりました。研修会は2部構成で行いました。

第1部の「糖尿病看護のリスクマネジメント」では、日本糖尿病教育・看護学会の理事であり、長年医療事故防止の研究に積極的に取り組まれている嶋森好子先生（京都大学医学部附属病院）より、社会及び医療情勢を加味したリスクマネジメントの最新情報や、取り組みを推進するための方策について幅広くご教示いただきました。また、臨床における取り組みとして、杏林大学医学部附属病院の浅間泉先生より、実際の指示書等を示していただきながら、リアリティーのある話を聞くことができました。参加者から「事例と対策、改善策を合わせた内容で、とても参考になった」との感想が寄せられました。

第2部の「楽しくてためになる糖尿病教室」では、まず、看護師・管理栄養士・運動トレーナーの先生方より、ご自身が企画・運営している教室の工夫点等についてお話いただきました。先生方のスライドに写っていた患者さんの楽しそうな笑顔がとても印象的でした。まとめとして坂根直樹先生にご登壇願ひ、行動科学に基づいた糖尿病教室について、工夫されたスライドと巧みな話術でご講演いただきました。教室の運営に悩む看護師は多く、今回、先生方に具体的に示していただいたことで、「明日から使える」「今すぐやってみよう」という感想に繋がったようです。会場が大きく盛り上がり、参加者の満足度も高い研修会でした。今回は①講師・座長の多くを西東京で活躍している療養指導士にする②看護職のネットワークをつくり、ゆくゆくは西東京CDE研究会とリンクして糖尿病患者と関わる医療スタッフの力の向上につなげたい。というねらいがありました。西東京地区で素晴らしい活動をしている療養指導士は大勢おり、後押ししてくれる基盤もあります。今回の講師や世話人を中心として、医療スタッフがますますパワーアップすることを願っています。



《第2回 西東京病態栄養研修会》

緑風荘病院 栄養科 西村 一弘

薬理・薬効を考えて食べる～栄養士に必要な薬の知識～笠原徳子先生（よつ葉薬局代表取締役管理薬剤師）は、経口糖尿病薬についての解説や、インスリン療法について作用時間などを図で示して頂いた。薬を理解して適正な食事時間や内容を考え、適切な栄養指導を行う必要性を示された。患者は栄養士に相談出来ない状況にあるという現状を踏まえて、積極的に患者に係わって欲しいと述べられた。座長の調先生（緑成会病院内科部長）からも医師の薬の処方の方などを具体的に教えて頂いた。医療従事者としての療養指導のあり方 出浦照國先生（昭和大学藤ヶ丘病院客員教授）は、「糖尿病療養指導士（栄養士）とは、他の医療従事者をリードし、紋切り型の仕事は許されない」また「栄養指導は、実際に効果を上げている施設が少なく、合併症が増え続けている現実を、真剣に受け止めて欲しい」と述べられた。更に、技法や食品交換表の問題点についても示された。文化の大切さを知ることが重要で、それは食事療法の基本である事も強調された。最後に「栄養士は医師の右腕である」という心強いお言葉を頂いた。座長の近藤先生（近藤医院院長）も、臨床現場で最も大切なことがこの講演で再認識出来たと述べられた。症例から学ぶ療養指導糖尿病性腎症の1例を出浦先生と菅野丈夫先生（昭和大学藤ヶ丘病院管理栄養士）から詳細に提示され、近藤先生・調先生にも随時コメントをいただきながら、長時間参加者全員で詳細に至るまで追及し討論を行った。症例の病態の理解などが深まったとの声が多かった。



《第2回 西東京薬剤研修会》

杏林大学医学部付属病院 薬剤部 小林 庸子

東京都病院薬剤師会共催による、1群研修会“西東京薬剤研修会”が開催された。約120名の薬剤師が参加し、昨年よりも広い会場が満員になった。

西東京臨床糖尿病研究会副理事長植木彬夫先生の開会の挨拶で幕を開けた。特別講演「患者様と共に歩む療養生活」虎石颯一先生（済生会福岡病院）“薬が飲めなければ飲むように工夫指導し、自己注射が困難であればなんとか出来る様にするのが薬剤師の使命”から考案された補助器具をご紹介いただいた。実物もお持ちいただき、講演後に参加者は実際に手に取って、興味深く見る事ができた。

午後は、パネルディスカッション

- ①「療養指導における現状と問題点—他職種との連携—」
 - ②「個別指導および集団指導（糖尿病教室）における問題点」
- というテーマで、病院薬剤部・診療所・調剤薬局の薬剤師の立場より現状を発表して頂いた。その後会場からの質問用紙を基に、活発な議論が展開された。会場からの追加発言も

あり、時間が足りないほどであった。最後は、同研究会副理事長の宮川高一先生の閉会の挨拶で幕を閉じた。様々な施設に於ける工夫された指導内容が紹介され、明日からの業務の参考になったと思われる。



研究会他のお知らせ

NPO法人西東京臨床糖尿病研究会 第38回例会

日 時 : 2005年10月1日(土) 14:25~17:55
 場 所 : 国分寺Lホール(国分寺駅ビル 8階)
 参加費 : 会員 無料 非会員 ¥1,000円
 申し込み方法 : 事前申し込みなし 直接会場へお越しください

日本糖尿病療養指導士認定機構単位更新のための研修単位<2群>:申請中
 西東京糖尿病療養指導士単位更新のための研修単位 : 6単位

[抜粋プログラム]

特別講演 I 「臨床病期に応じた糖尿病診療—SDMの到達点」
 日本糖尿病療養指導士認定機構 理事長
 済生会渋谷診療所 所長 松岡 健平

特別講演 II 「地域連携とSDM—わかしおネットワークの経験から」
 千葉県立東金病院 院長 平井 愛山

西東京糖尿病療養指導士養成講座 [旧名称:連続12回講座]

日 時 : 2005年9月22日(木)~12月13日(火)の期間内
 火・木に13回実施
 (日程は決定次第ホームページにアップいたします。)
 場 所 : 立川市女性総合センターアイム 1階ホール
 参加費 : 15,000円(テキスト代金2,500円含む)
 申し込み方法 : 8月1日(月)以降事務局に資料請求又はホームページの
 [最新情報]をご覧ください。定員(190名)になり次第締め切り。
 テキスト : 日本糖尿病療養指導士受験ガイドブック2005-2006を使用
 (当日配布予定)



その他のスケジュール

◇第6回 糖尿病予防講演会

※事前申込みは不要です。直接会場までお越しください。

開催日 : 平成17年9月17日(土) 14:30~17:30
 場 所 : パルテノン多摩 大ホール(多摩センター駅から徒歩5分)
 参加費 : 無料
 プログラム : 特別講演 『すべての始まりは肥満から』

演者 東京通信病院内科部長 宮崎 滋先生 他

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位:1単位

<事務局よりお知らせ>

平成17年8月13日(土)~21日(日)迄事務局は夏休みになります。

休業中は電話が通じませんので、お問い合わせは8月12日(金)までにお願いいたします。ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 村エントラザ*402 TEL:042(322)7468 FAX:042(322)7478
<http://www.nishitokyo-dm.net> E-mail:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp